

外来診療科	月	火	水	木	金	備考	
内科	午前	○	○	○	○	○	
	午後						午後の定期診療は一時中止しています
消化器内科	午前	○	○	○	○	○	
	午後				■	■	■金(第3)・木(第4) 大腸内視鏡予約検査
循環器内科	午前	○	■	○	○	○	■第2・第4火曜は呼吸器(第1・第3・第5火曜は循環器)
	午後						
小児科	午前	○	○	○	○	○	
	午後	○	○	○	○	○	町の健診終了時間により午後の診察時間が変わります
整形外科	午前	○	○	○	○	○	火曜日：鶴木医師の診察は完全予約制です
リハビリテーション科	午前	○	○	○	○	○	
脳神経外科	午前/午後				○		受付時間…7:00～15:00
婦人科	午前				○		
泌尿器科	午前	○		○		○	
人工透析	午前/午後	○		○		○	
耳鼻咽喉科	午前				○		受付時間…7:00～14:00
	午後		○		○		
眼科	午前	○	○	○		○	
皮膚科	午前		○			○	完全予約制です(予約の際は直接ご来院下さい)
精神科	午後			○			完全予約制です(予約の際は直接ご来院下さい)

平成30年度 利用状況	消化器内科	115	眼科	87	紹介機関		紹介患者数		内CT		内MRI	
	循環器内科	251	脳神経外科	48	診療所		554	62	3			
	小児科	32	内科	589	病院		374					
	整形外科	250	皮膚科	53	老健施設		133					
	リハビリテーション科	0	泌尿器科	85	特養老人ホーム		0					
	婦人科	9	精神科	28	厚生連病院		517					
	耳鼻咽喉科	31	合計	1578	ショートステイ		0					
					合計		1578					

連絡先 湖東厚生病院 地域医療連携室

代表電話 018(875)2100
 直通FAX 018(875)5421
 業務時間 平日 8:30～17:00
 住所 南秋田郡八郎瀧町川崎字貝保98番1

湖東厚生病院 018-875-2100(代) Fax 018-875-5269



Bells in Koto since 2011

湖東厚生病院 地域医療連携室だより ことうの鐘 Vol.14



ずいぶん雪の少ない冬に感じられた昨季、それとも比べようもない程の小雪となっている今シーズン、世界に目を向けますと中国を震源とする新型コロナウイルスが猛威を振るっています。感染収束の糸口は未だに見えず、感染症そのもの脅威もさることながら世界経済に及ぼす巨大な負の影響に世界中が震撼する事態となっています。日本での感染拡大が、どの程度になるのかは専門家の間ですら判断が分かれている状況ですが、既に市中感染症の状況へ移行しており秋田県でも感染者発生に対応すべく準備が進められています。

さて、昨年9月に厚労省から唐突に公表された424病院問題、癌治療や救急医療に対する実績が少ないという一律に基準で全国に1455ある公立病院、公的病院中、424病院に対して再編、統合、更には急性期医療からの撤退を要求するという通達でした。秋田県でも当院を含む5病院が対象とされ翌日の秋田さきがけ一面で大々的に報道されましたので、ご記憶の方も多いことと思います。医療過疎地域の医療を担っている中小病院の存在意義を国家権力が頭ごなしに否定するような発表に対して全国の多くの病院、行政側から批判、反発が起こりました。この発表は、厚労省が推進している“地

域医療構想”に関連したものでしたが、これは同じく厚労省が長期的医療政策の、もうひとつの柱として掲げている“地域包括ケアシステム”の推進とは全く整合性を欠ける対応と考えられました。

このような状況の中で、昨年末に当院における今後の急性期医療の在り方について県、厚生連の担当者話し合いを行いました。その中で、これまで当院が一般病棟で担ってきた医療は高齢者救急そのものであるというデータ、そして今後も急性期と回復期を融合した形で地域医療を担っていくという病院としての方向性を提示いたしました。それに対して、県からも大方の合意を得ることが出来ましたので、そのことを2月の運営委員会の場で地元行政、JAのトップに報告し御理解を頂きました。

今後も地域の高齢者に対する一次救急を含めた包括的医療をしっかりと担いつつ、その中で患者さんのQOL(生活の質、そして人生・生命の質)を最大限に尊重する全人的医療を提供し続けていきたいと思いを新たにしております。

院長 中鉢 明彦

新任医師紹介

令和元年度から当院に赴任しました医師を紹介します。

Introduction : New Doctor



石井 元 いしい はじめ

日本内科学会認定内科医、専門医
日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医、指導医
日本肝臓学会専門医

令和1年10月より勤務させていただいている石井元です。出身は茨城県の水戸市です。2003年に秋田大学を卒業後、母校の第一内科(消化器内科・神経内科)に入局し、消化器内科医として大学病院、市立秋田病院を中心に研鑽を積んで参りました。消化器内科の中でも、特に内視鏡検査・治療を専門にしており、これまで多数の内視鏡治療を行っています。

湖東病院は在宅医療や高齢者医療も含め、地域医療の重要な拠点となっており、私がこれまで行ってきた内視鏡治療が貢献できればと考えています。

消化器がんの方には、がんによる消化管狭窄や、閉塞性黄疸がしばしばみられます。外科手術ができれば根治となる方も多くいらっしゃいますが、がんが進行して根治手術の適応とならない方や、年齢や基礎疾患のため手術が



できない方に関しては、内視鏡治療が選択肢となります。具体的には、消化管狭窄に対しては内視鏡的消化管ステント留置術、閉塞性黄疸に対しては内視鏡的胆道ドレナージ術があり、当院に赴任してから3ヶ月で各々数例を行っています。また、早期消化管がんに対する、内視鏡的粘膜下層剥離術も行っています。

もちろん全ての消化器疾患が当院で治療完遂できる訳ではありませんが、総合病院への紹介も含めて、患者さんにとってよりよい治療方針を提示させていただきます。

消化器疾患以外の診療に関しても、内科外来や在宅医療(訪問診療)を通して貢献していきたいと思っています。よろしくお願い致します。

地域医療連携室

ご利用の流れ



地域医療連携に係わる 多職種意見交換会

令和元年11月22日八郎潟町のえきまえ交流館はちパルにて「在宅医療・終末期医療を考える」～もしも...の時は必ずやってくる。本人、家族と一緒に考えよう!～をテーマに地域医療連携多職種意見交換会を開催しました。近隣の施設から約60名の方にご参加をいただきました。

はじめに東北大学病院緩和医療科、武田郁央先生より、「さあ始めよう人生会議!!」と題してご講演いただきました。人生会議を行う時期や、人生会議における意思決定支援者としての心得等について知る良い機会となりました。

その後講演をしていただいた内容をもとにワールドカフェ形式で「その人の人生に寄り添い後悔なく過ごせるような支援をするには」、「意思決定支援の方法やタイミングは」というテーマでディスカッションを行いました。

参加者からは「講演で教わった人生会議ノートを作成していきたい。」「人を支えていく上で一番大事なことはコミュニケーションだということを確認しました。」「状態は変わっていくので、その都度ご本人とご家族の意向を確認し話し合いを重ねていく事が大事。」などのご感想をいただきました。

今後もこのような意見交換会を開催し、医療・介護・福祉の連携を深め、患者様が住み慣れた地域において、その方の望む生活の支援を行っていききたいと思います。



- ① 紹介元医療機関様より「紹介患者様用診療申込書」を地域医療連携室へFAX送信していただきます。
(※お急ぎの場合は直接お電話いただいております)
- ② 地域医療連携室で各科外来と受診日調整を行い、紹介元医療機関様にFAXにて受診日等をお知らせいたします。
- ③ 紹介元医療機関様より患者様へ「診療情報提供書」を渡していただき、受診日等のご説明をお願いします。
- ④ 紹介患者様の受付は、当院「紹介患者様窓口(正面受付)」にて外来事務職員が対応させていただきます。
- ⑤ 受診後、地域医療連携室より速やかに紹介元医療機関様へ「受診報告書」をFAXさせていただきます。

夕暮れ診療時間帯でもFAXをお受けいたします!

当院では、夕暮れ診療の時間帯(17時~19時)であっても、医療機関様からの患者紹介や患者情報などのFAXをお受けしております。

なお、夕暮れ診療の時間帯にFAXをお送りいただく際には、送信前に当院へお電話にてご連絡ください(☎018-875-2102・内線2180)。

ご面倒をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。